

# 第2次旭市行政改革アクションプラン取り組み結果

市では、平成22年度から26年度を計画期間とする第2次旭市行政改革アクションプランを策定し、行政改革に取り組みましたので、概要を公表します。

人件費の抑制や事業の見直しにより、5年間で約24億円の財政効果を挙げることができました。

## 行政改革の取り組み

合併後の持続的発展や規模の適正化を実現するため、平成17年度から行政改革に継続的に取り組んできました。

平成22年度からは第2次アクションプランを策定し、健全な財政を維持しながら市民のニーズに定める行政運営を行い、成果を挙げるできました。

平成27年度からは、第3次旭市行政改革アクションプランにより、さらなる行政改革に取り組みます。

## 問い合わせ先

行政改革推進課 行政改革推進班

☎ 62・5345

### 1. 市民ニーズに即応できる行政基盤の確立

項目名	主な取り組み事項	実績
(1)変化に対応できる組織・機構への再編	行政改革推進担当課の設置	H22年度から設置
	子育て支援担当課の設置	H22年度から設置
	支所組織の見直し	配置職員の削減(▲19人)
(2)職員数、人件費の抑制 【効果額 13億1,317万円】	定員適正化計画に基づくさらなる職員数の削減	職員の削減(▲71人)
(3)職員の人材育成	職員の人材育成	人事考課制度、昇任試験の導入など
(4)事務事業の再編・整理、廃止・統合 【効果額 7,573万円】	新学校給食センター調理業務などの民間委託	H24年9月から配送業務を民間委託
	指定管理者の活用	H25年度から長熊釣堀センターで導入 H26年度から海上キャンプ場で導入
	消防団再編による施設の計画的な整備	消防車両の削減(▲11台) 消防庫の削減(▲11棟)

### 2. 健全で効率的な財政基盤の確立

項目名	主な取り組み事項	実績
(1)財政の健全化 【効果額 7億6,563万円】	市税などの収納率の向上	全ての債権で収納率が向上
	使用料・手数料の見直し	H26年10月から各施設の料金を改定
	補助金・交付金などの見直し	H23年度策定の見直し方針により随時見直し
(2)公共施設の統廃合 【効果額 1億4,527万円】	公共施設の活用方針の策定	H23年8月に策定
	公共施設の有効活用	H26年6月に公共施設白書を策定
	各施設の廃止	H22年度に干潟シルバー活力センター、青少年憩の家、茅野市山の家、大原幽学キャンプ場を廃止
	学校給食センターの統廃合	H24年7月に第三学校給食センターを廃止 H24年9月から新第二学校給食センターを稼働
	保育所の統廃合	H22年度末で埴保育所を閉所 H25年度末で飯岡中央保育所、三川保育所を閉所 H26年度からいいおか保育所(統合保育所)を開所
(3)未利用資産の処分 【効果額 1億257万円】	未利用資産の活用方針の策定	H24年3月に策定
	未利用地利活用計画の推進	7,560.63㎡の未利用地を処分

### 3. 公正で透明な行財政運営の確立

項目名	主な取り組み事項	実績
(1)市民参画による行政運営	審議会委員などの公募の推進	公募委員の登用が定着
	パブリックコメント制度の導入	H24年4月に実施要綱を制定
(2)市民に対する情報発信	市の重要施策と実施事業の公表	ホームページや広報紙の充実